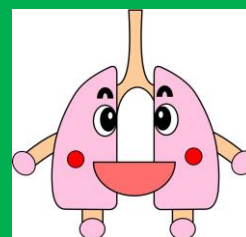


多摩府中保健所感染症週報

平成30年 第50週 (12月10日~12月16日)



肺えもん

今週の傾向

★水痘の定点医療機関当たりの報告数は、都および管内で注意報基準を超えました。

(※詳しくは「今週の状況」を参照)

★インフルエンザ、感染性胃腸炎の報告数が増加しています。

★手洗い・咳エチケットを行い、飛沫感染や接触感染を予防しましょう。

● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

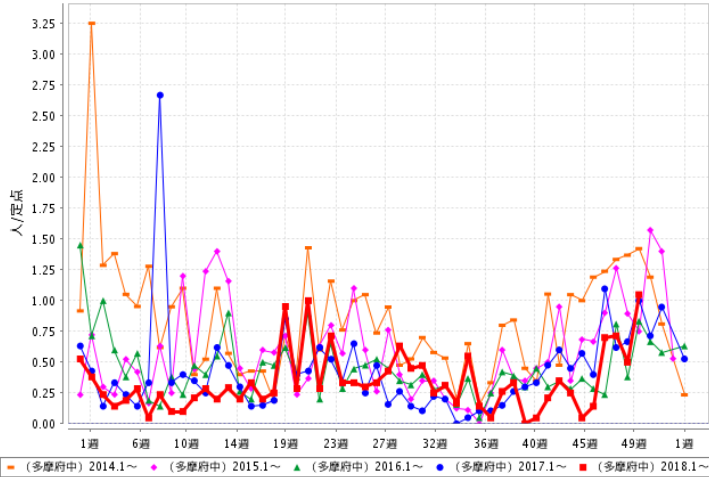
定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第49週	第50週	第49週	第50週
インフルエンザ	インフルエンザ	1.28	2.67	1.57	2.68
小児科	RSウイルス感染症	0.10	0.29	0.23	0.27
	咽頭結膜熱	0.85	0.81	0.48	0.53
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.20	5.05	3.48	3.26
	感染性胃腸炎	12.70	13.05	12.04	12.59
	水痘	0.50	1.05	0.56	0.77
	手足口病	0.30	0.38	0.82	0.80
	伝染性紅斑	2.95	2.24	2.39	2.05
	突発性発しん	0.70	0.43	0.47	0.40
	ヘルパンギーナ	-	0.05	0.08	0.07
	流行性耳下腺炎	0.25	0.05	0.13	0.06
	不明発しん症	0.20	0.14	0.06	0.05
	川崎病	-	-	0.03	0.02
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	0.50	0.34	0.54
基幹	細菌性髄膜炎	0.33	-	0.04	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0.33	1.00	0.32	0.32
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	0.04
	インフルエンザ (入院)	0.67	0.33	0.12	0.20

今週の状況 …過去 5 年間の比較

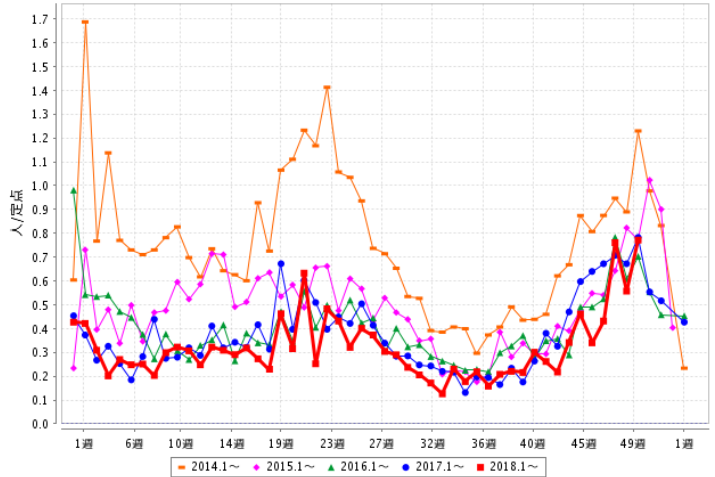
赤線は 2018 年第 50 週までの定点当たりの報告数

●水痘・管内の定点当たり患者報告数は昨年と同水準で推移しています。

多摩府中保健所管内



都内



※水痘の流行を早期に探知し注意喚起を促すために、平成 30 年 9 月から、注意報基準は定点当たり 4.0/週から 1.0/週に、警報基準は定点あたり 7.0/週から 2.0/週に変更されています。
 ※保健所の患者報告数が注意報レベルにある 9 保健所の管内人口の合計が、都全体の人口の 30%を超えたため、都の注意報開始となりました。

★インフルエンザの流行が始まっています

管内のインフルエンザ定点当たりの報告数は 2.67 人で、昨週 (1.57 人/定点) よりも増加しており、集団発生報告数や、学級閉鎖報告数も増加しています。

- ◆ 正しい手洗い、咳エチケットを励行しましょう。
- ◆ 東京都のインフルエンザ情報は [こちらから](http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/)

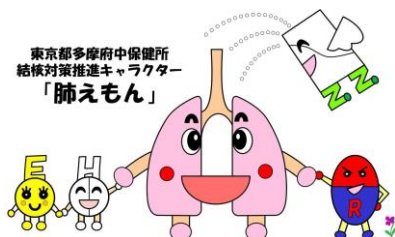


※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは? : 発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第 14 条により、都道府県は「指定届出機関 (定点医療機関)」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

参考) 指定届出機関 (定点医療機関)

- インフルエンザ定点 : 管内 33 機関 (都内 419) 小児科定点 : 管内 21 医療機関 (都内 262)
- 眼科定点 : 管内 3 機関 (都内 39) 基幹定点 : 管内 3 医療機関 (都内 25)



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当
 TEL : 042 (362) 2334 (代表)

検索 多摩府中 感染症週報